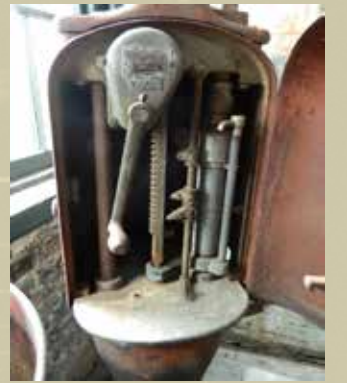




1907 (サーカ)ギルバート&バーカー ガスポンプ



製造情報

製造商	ギルバート&バーカー
組付工場	未知の
モデル生産量	未知の
総生産量	未知の
馬力	未知の
重量	未知の
当時売価	未知の

イノベーション(ポイントのみ)

カーブに備えたとても頑丈な車体

目盛定めされたハンドル(ガス1ガロン相当の1回転)

「可視ポンプ」(またはカーブポンプ)と呼ばれる

初期のガソリンポンプ

フォード・モーターカンパニーが設立されてから、ギルバート・アンド・バーカーは、早期自動車の燃料を引き出すために手作業のガソリン・ポンプを製造し始めました。これらは、金物店や鍛冶屋の前などでのカーブにおいての位置を知らせる為、カーブポンプと呼ばれていました。また、このモデルはラックアンドピニオン(歯車的一种で、回転力を直線の動きに変換する)を利用したハンドクランクで作動する垂直円筒形ポンプを特徴としていました。これは、1ガロンのポンプで、1ストローク毎に1ガロンが分配されることを意味します。彼らは、充填缶のためのスピゴットと、自動車のガソリンタンクを直接満たすためのホースとノズルとの両方を供給しました。これらのポンプは、全ての作動部品を覆っていた揺れる鋳鉄製のドアを閉じてロックすることによって固定することができました。

貸与先: Chris Elliott